



令和2年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年2月4日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務広報部長 (氏名) 重光 誠 TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 令和2年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	97,198	2.2	305	11.6	403	7.5	309	42.9
31年3月期第3四半期	99,396	0.5	345	5.4	435	1.9	541	83.7

(注)包括利益 2年3月期第3四半期 291百万円 (3.2%) 31年3月期第3四半期 301百万円 (41.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	22.53	
31年3月期第3四半期	39.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	26,941	7,216	26.8
31年3月期	21,802	7,007	32.1

(参考)自己資本 2年3月期第3四半期 7,216百万円 31年3月期 7,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		6.00	6.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)31年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,500	2.5	250	3.8	400	4.2	300	26.2	21.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(令和2年2月4日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	13,774,819 株	31年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	2年3月期3Q	49,931 株	31年3月期	49,899 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	13,724,892 株	31年3月期3Q	13,724,929 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う影響はみられたものの、各種政策の効果もあり雇用や所得環境は改善が続きました。その一方で、海外経済の不透明感が強まるなか、輸出や生産に弱さがみられるなど、力強さに欠ける状況となりました。

当水産流通業界におきましては、国際的な水産物需要は引き続き高まる一方、国内では漁獲量の減少や暖冬の影響などもあり荷動きは伸び悩むなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が971億98百万円（前年同期比21億97百万円減）となり、利益面では営業利益3億5百万円（前年同期比39百万円減）、経常利益4億3百万円（前年同期比32百万円減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3億9百万円となり、前年同期に特別利益として固定資産売却益1億81百万円を計上していたため、前年同期比は2億32百万円の減益となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、売上高については天候不順などによる不安定な漁獲状況や主力商材として期待していたサンマ等の青魚の不漁などの影響により国内の販売が伸び悩み、970億54百万円（前年同期比21億91百万円減）となりました。利益面では売上総利益は増加したものの、物流費の増加等の影響によりセグメント利益は4億33百万円（前年同期比38百万円減）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高については1億90百万円（前年同期比9百万円減）となり、利益面では冷蔵庫設備の改修費用等の影響によりセグメント利益は7百万円（前年同期比4百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて51億38百万円増加し、269億41百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が50億14百万円、商品及び製品が12億16百万円増加した一方、現金及び預金が14億44百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて49億29百万円増加し、197億24百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が27億96百万円、短期借入金が19億99百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億8百万円増加し、72億16百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を3億9百万円計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、最近の業績動向を踏まえ、令和元年5月13日付の「平成31年3月期決算短信」にて公表いたしました予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（令和2年2月4日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,657	2,213
受取手形及び売掛金	9,343	14,358
商品及び製品	3,012	4,229
短期貸付金	300	300
未収消費税等	73	131
その他	178	211
貸倒引当金	△17	△28
流動資産合計	16,547	21,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	728	863
土地	1,723	1,723
その他(純額)	245	223
有形固定資産合計	2,697	2,810
無形固定資産		
	49	74
投資その他の資産		
投資有価証券	2,346	2,359
長期貸付金	285	379
破産更生債権等	659	658
固定化営業債権	817	808
繰延税金資産	22	19
その他	108	138
貸倒引当金	△1,731	△1,721
投資その他の資産合計	2,508	2,642
固定資産合計	5,255	5,526
資産合計	21,802	26,941

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,519	11,315
短期借入金	1,534	3,534
1年内返済予定の長期借入金	166	83
未払金	466	601
未払法人税等	30	68
賞与引当金	151	41
その他	268	394
流動負債合計	11,135	16,038
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	500	500
繰延税金負債	247	250
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	198	222
退職給付に係る負債	1,576	1,578
その他	385	383
固定負債合計	3,659	3,685
負債合計	14,795	19,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	3,059	3,286
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,889	6,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	878	885
繰延ヘッジ損益	4	△9
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	17	6
その他の包括利益累計額合計	1,118	1,100
純資産合計	7,007	7,216
負債純資産合計	21,802	26,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	99,396	97,198
売上原価	94,079	91,818
売上総利益	5,316	5,380
販売費及び一般管理費	4,971	5,074
営業利益	345	305
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	52	57
受取賃貸料	102	104
その他	17	11
営業外収益合計	177	179
営業外費用		
支払利息	15	14
賃貸費用	58	59
その他	13	6
営業外費用合計	87	81
経常利益	435	403
特別利益		
固定資産売却益	181	—
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	183	—
特別損失		
固定資産除却損	6	—
減損損失	1	7
特別損失合計	8	7
税金等調整前四半期純利益	610	396
法人税、住民税及び事業税	36	73
法人税等調整額	32	13
法人税等合計	69	86
四半期純利益	541	309
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	541	309

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
四半期純利益	541	309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225	6
繰延ヘッジ損益	△14	△13
退職給付に係る調整額	△0	△11
その他の包括利益合計	△240	△17
四半期包括利益	301	291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301	291
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	99,245	150	99,396	—	99,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	49	49	△49	—
計	99,245	199	99,445	△49	99,396
セグメント利益	471	11	483	△138	345

(注)1. セグメント利益の調整額△138百万円のうち、△130百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△7百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、1百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	97,054	144	97,198	—	97,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	45	45	△45	—
計	97,054	190	97,244	△45	97,198
セグメント利益	433	7	440	△135	305

(注)1. セグメント利益の調整額△135百万円のうち、△130百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△5百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、7百万円の減損損失を計上しております。